

第9回企画展

立山カルデラの妖精

～クモマツマキチョウ



立山カルデラ砂防博物館

は じ め に

立山カルデラは立山黒部アルペンルート
の弥陀ヶ原の南側に位置し、周囲は切り
立った断崖で囲まれています。人を簡単
に寄せつけない荒々しい環境の中で、多
種多様なチョウが生息しています。

今回の企画展の主役「クモマツマキチヨ
ウ」は可憐に舞う美しい姿から妖精にた
とえられます。妖精の命の始まりとから
だの変化、そして神秘的な羽化を映像や
ジオラマ、標本で表現しました。

また、クイズやおもちゃづくりなどお楽
しみコーナーも設定しました。

どうぞ、お気軽にお楽しみください。

も

く

じ

- 2 はじめに
- 5 第1章 ● 立山カルデラってどんなところ？
- 8 **column 1** 立山カルデラ砂防体験学習会
- 9 第2章 ● あなたが、もし、10分の1になったら…
- 15 第3章 ● クモマツマキチョウってどんなチョウ？
- 24 **column 2** 切手になったクモマツマキチョウ
- 25 第4章 ● 世界のクモマツマキチョウのなかま
- 29 第5章 ● 電子顕微鏡で見ると…
- 32 **column 3** 電子顕微鏡
- 33 第6章 ● ハイビジョン映像「立山カルデラの妖精」ダイジェスト
- 38 第7章 ● 立山カルデラのクモマツマキチョウ 大野豊
- 42 資料 ● 立山カルデラ砂防博物館所蔵の蝶の標本リスト
- 45 付録 ● 蝶のおもちゃ
- 47 おわりに

■ 観察ポイント

「卵」

はどこにあるかな？



「幼虫」

を見つけよう。



「蛹」

を見つけよう。



1 クモマツマキチョウの特徴 とくちょう



学名： *Anthocharis cardamines isschikii* Matsumura, 1925

モンシロチョウのなかまで、シロチョウ科に属します。オスの前翅ぜんし（まえばね）の先の方半分がオレンジ色をしており、メスは全面白色で前翅の縁に淡い黒色の模様があります。翅の裏面にはどちらも緑色の唐草風の模様があり、草花にとまっているときには保護色ほごしよくとなっています。

かんきょうしょう環境省レッドリスト準絶滅危惧種*

ふやまけん富山県レッドリスト危急種*

ふやまけん富山県指定天然記念物

※絶滅危惧種、危急種とは…

日本の絶滅のおそれのある生物のなかまの現状をまとめた日本版レッドデータブックに用いられている、絶滅のおそれの程度を示す分類の一つ

・絶滅の危機に直面している…絶滅危惧種

・現在の状態が続けば近い将来絶滅する可能性がある…危急種

クモマツマキチョウの鱗粉

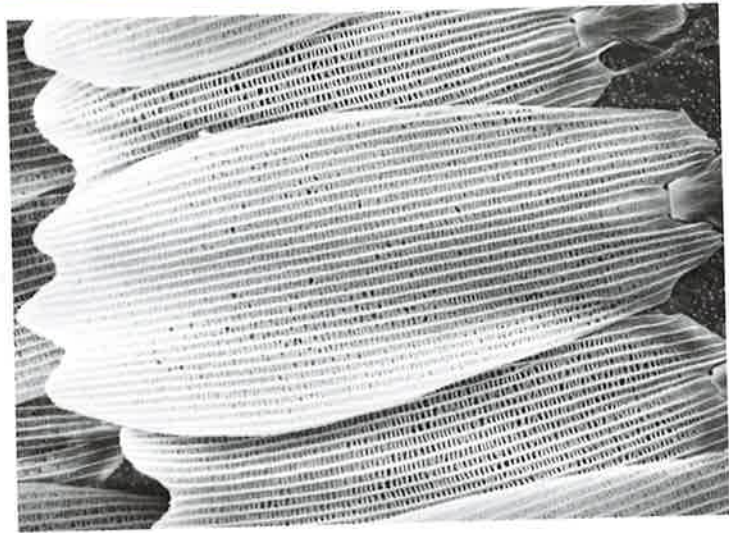
鱗粉のおもな役割

水をはじく

鱗粉は水をはじく特性があります。つまり、雨水に当たっても、それをはじき返す力を持っています。おかげで、蝶の羽は雨が降った後も濡れずに、すぐに飛び立つことができます。

羽を彩る

蝶の羽の模様は一つひとつの鱗粉が集まってできたものです。そして羽の模様を作っています。



クモマツマキチョウの口（口器）

チョウの口器は2本の長いひも状のものが合わさってできています。

普段はホースのように丸く縮めていますが蜜を吸うときに伸びるようになっています。



クモマツマキチョウの目（複眼）

チョウは複眼のよく発達した昆虫のなかまです。よく発達した目で花を見つけて蜜を吸います。また、私たちとは違って紫外線を感じて蜜のありかを見つけます。

